

コミュニケーション関係学教育における情報教育のガイドライン

【到達目標 1】

コミュニケーションのプロセスにおけるICTの役割を理解できる。

【到達度】

情報検索とワープロ、表計算、プレゼンテーションソフトなどの機能や特徴を理解し、利用できる。

ICTを用いたコミュニケーションの特徴を理解し、適切に利用することができる。

情報倫理を理解し、信頼性の識別や情報の引用ができる。

【教育内容・教育方法】

は、ICTの基礎的知識とコミュニケーション学とを関連付けて確認させる。

は、演習・実習形式でプレゼンテーションなどを通じて表現方法の適切性を体験させる。

は、講義などにより、信頼性と倫理について、具体的事例を通じて理解させる。

【到達度確認の測定手段】

は、レポート、小テストなどで確認する。

は、プレゼンテーションにより確認する。

は、レポートなどで確認する。

【到達目標 2】

コミュニケーションのメディアとしてICTを活用できる。

【到達度】

ICTを用いて情報の検索、収集、整理ができる。

コミュニケーションの目的に沿って適切なICTを選択し、表現できる。

ICTを利用して複数の相手と意見交換するための場を設定できる。

【教育内容・教育方法】

は、演習・実習などにより、課題を与えてWeb検索や資料検索等によって得られたデータの収集、整理を体験させる。

は、ICTを用いてレポートの作成やプレゼンテーションを実施させる。

は、実習などで多様なメディアを使い分けて場を設定し、適切なコミュニケーションを実践させる。

【到達度確認の測定手段】

～ は、レポート、プレゼンテーションなどにより確認する。